

第15期(2013年3月期) 第2四半期決算のご説明

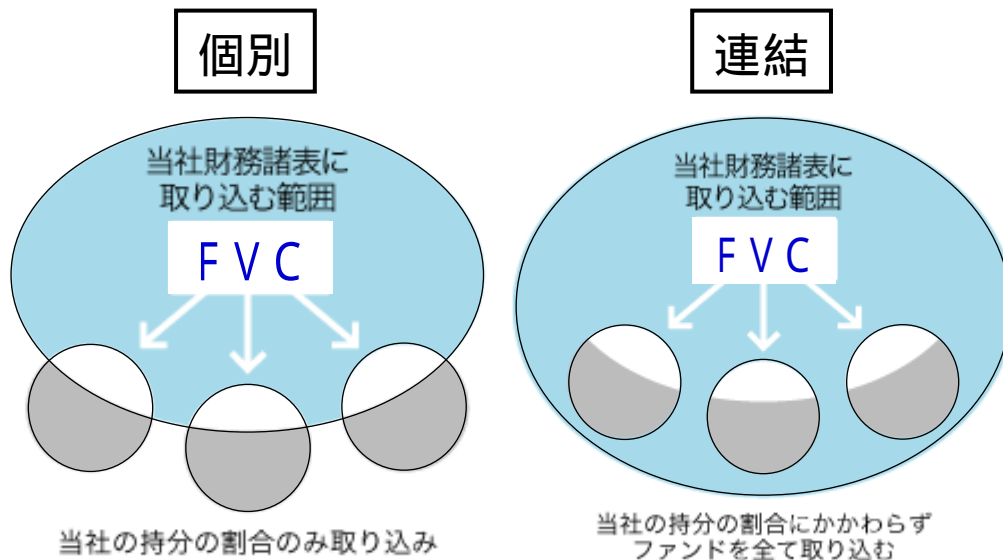
フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証JASDAQスタンダード, 証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

本資料の数値は、特に指定がない限りすべて2012年9月末現在のものです。

本資料における記載数値について

当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別決算数値を記載しております。



投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合20.2%

< 連結決算の場合 >

連結貸借対照表

・自己資本比率が低下

連結損益計算書

・営業投資有価証券にかかる損益が増幅

・投資事業組合等管理収入が
内部取引とみなされ、相殺消去(管理報酬等)

目次

- 1. 株式市場環境 … P.4
- 2. 2013年3月期第2四半期
決算説明 … P.7
- 3. 収益改善に向けた取り組み … P.18

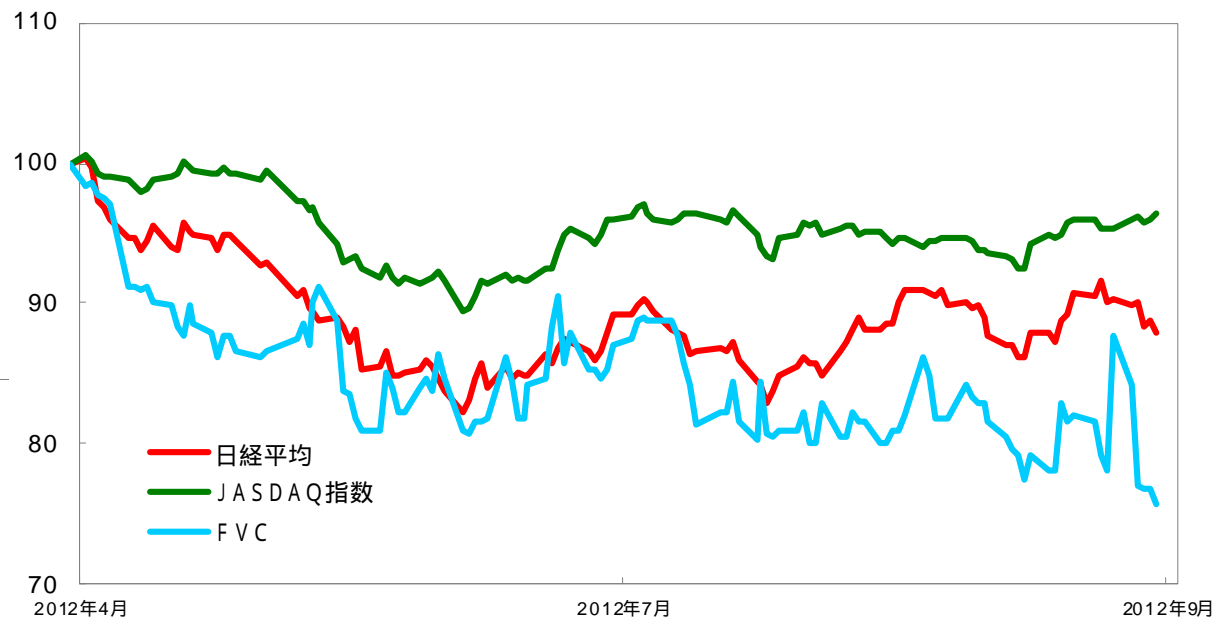
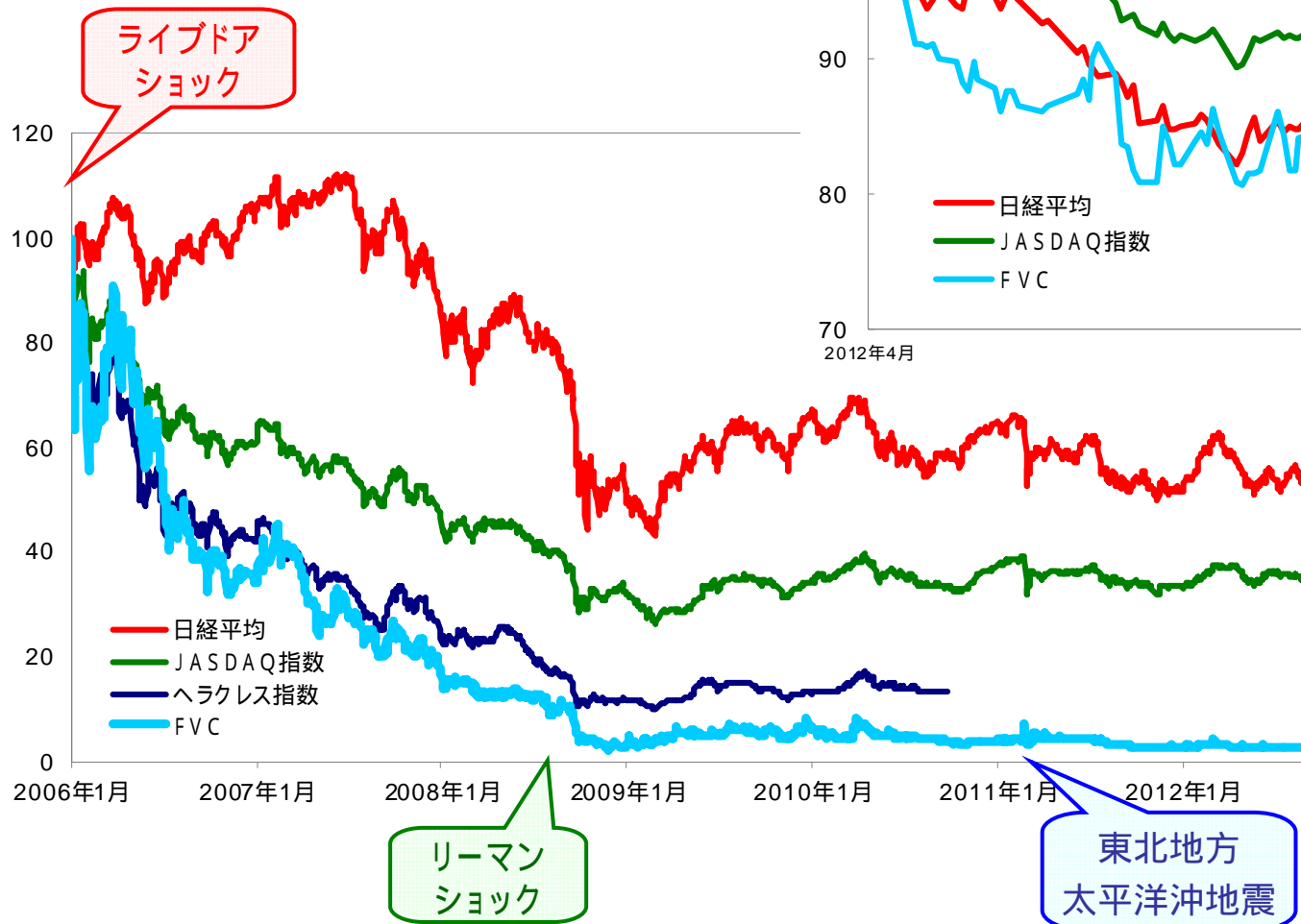
【参考】 会社概要



株式市場環境

1.1. 株式市場の状況

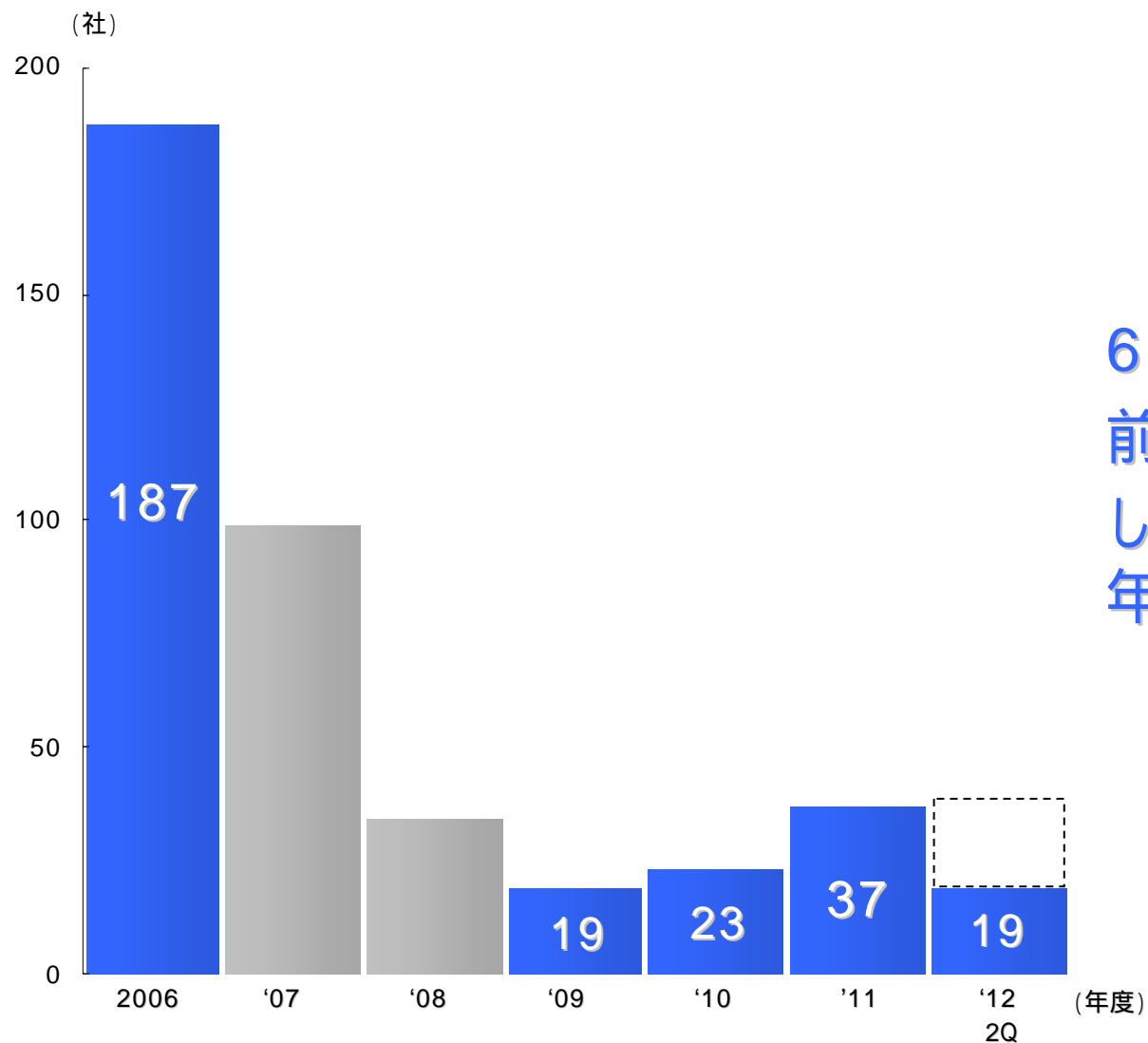
株価は期初から下落、その後は一進一退の値動き
 大きな流れでは、2006年以來の新興市場低迷は
 なお続く



(右上)2012年4月1日を100とする指数
 (左下)2006年1月16日を100とする指数

ヘラクレス指数は新JASDAQ市場誕生に伴い
 2010年10月8日を以って廃止されました。

1.2. 新規上場市場の状況



新規上場市場

6ヵ月経過時点で19社が上場し、
前年同期の13社を上回る
しかしながら、直近ピークの2006
年度には遠く及ばない水準



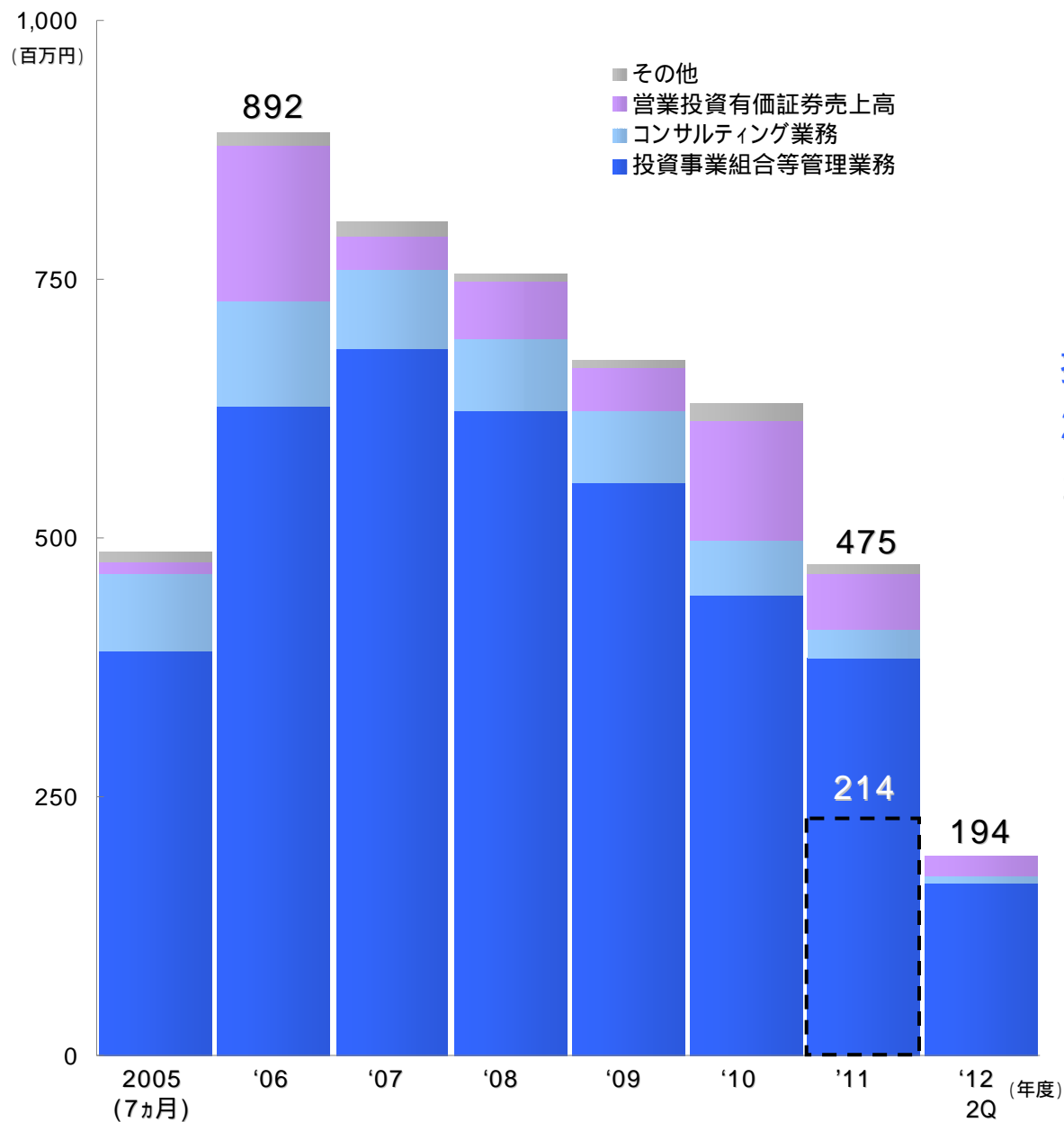
2013年3月期第2四半期 決算説明

2.1. 決算概要

投資事業組合管理収入が減少したことにより売上高は減少したものの、営業投資有価証券に係る損益の改善、販売費及び一般管理費の減少により最終損益はわずかに改善

単位:百万円	第14期第2四半期 2011/4-2011/9	第15期第2四半期 2012/4-2012/9	対前年同期比	第14期通期 2011/4-2012/3
売上高	214	194	20	475
営業損益	35	29	+6	194
経常損益	52	44	+8	232
当期損益	57	50	+7	84
純資産	175	265	+90	316
総資産	1,389	1,331	57	1,446
自己資本比率	11.4%	18.7%	+7.3	20.7%

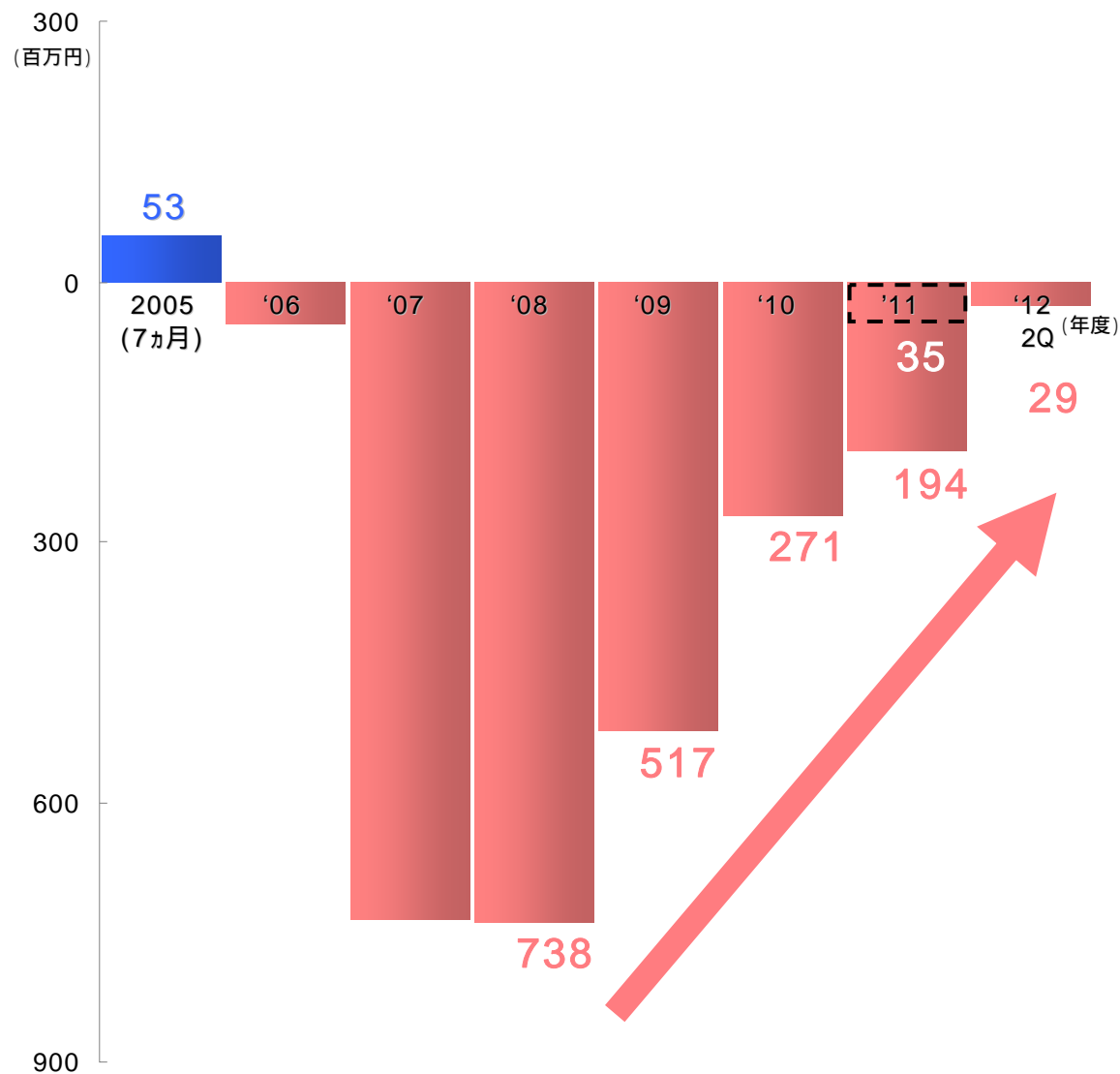
2.2. 売上高推移



売上高

投資事業組合等管理業務収入の減少が続き、
2006年度をピークに減少傾向
当期も前年同期比で減収となった

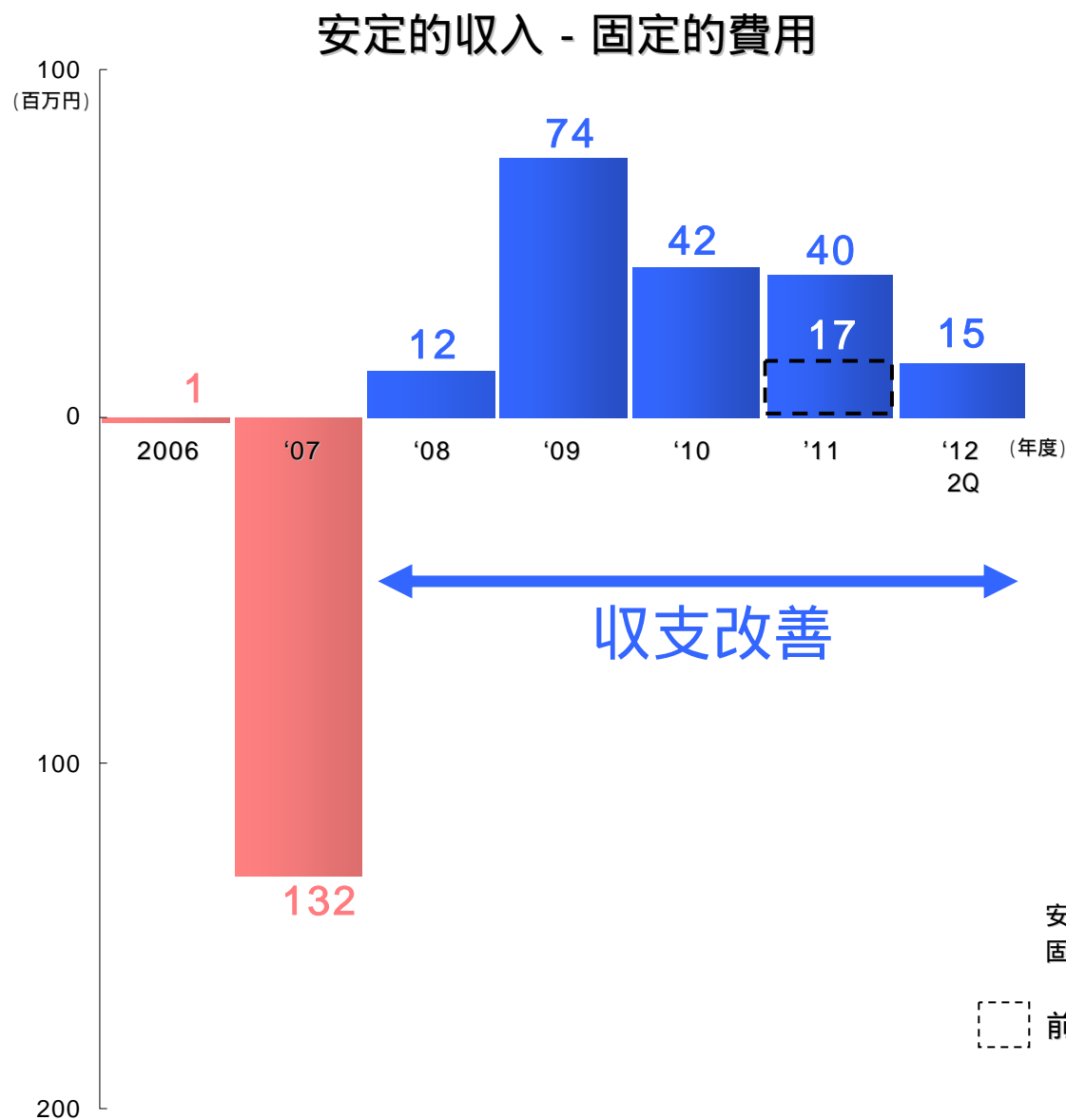
2.3. 営業損益推移



営業損益

営業投資有価証券に係る
引当金繰入額が減少し、
2008年度をピークに改善傾向

2.4. 安定的収入と固定的費用のバランス



安定的収入と固定的費用

2006年度より安定的収入と固定的費用の
バランスが悪化

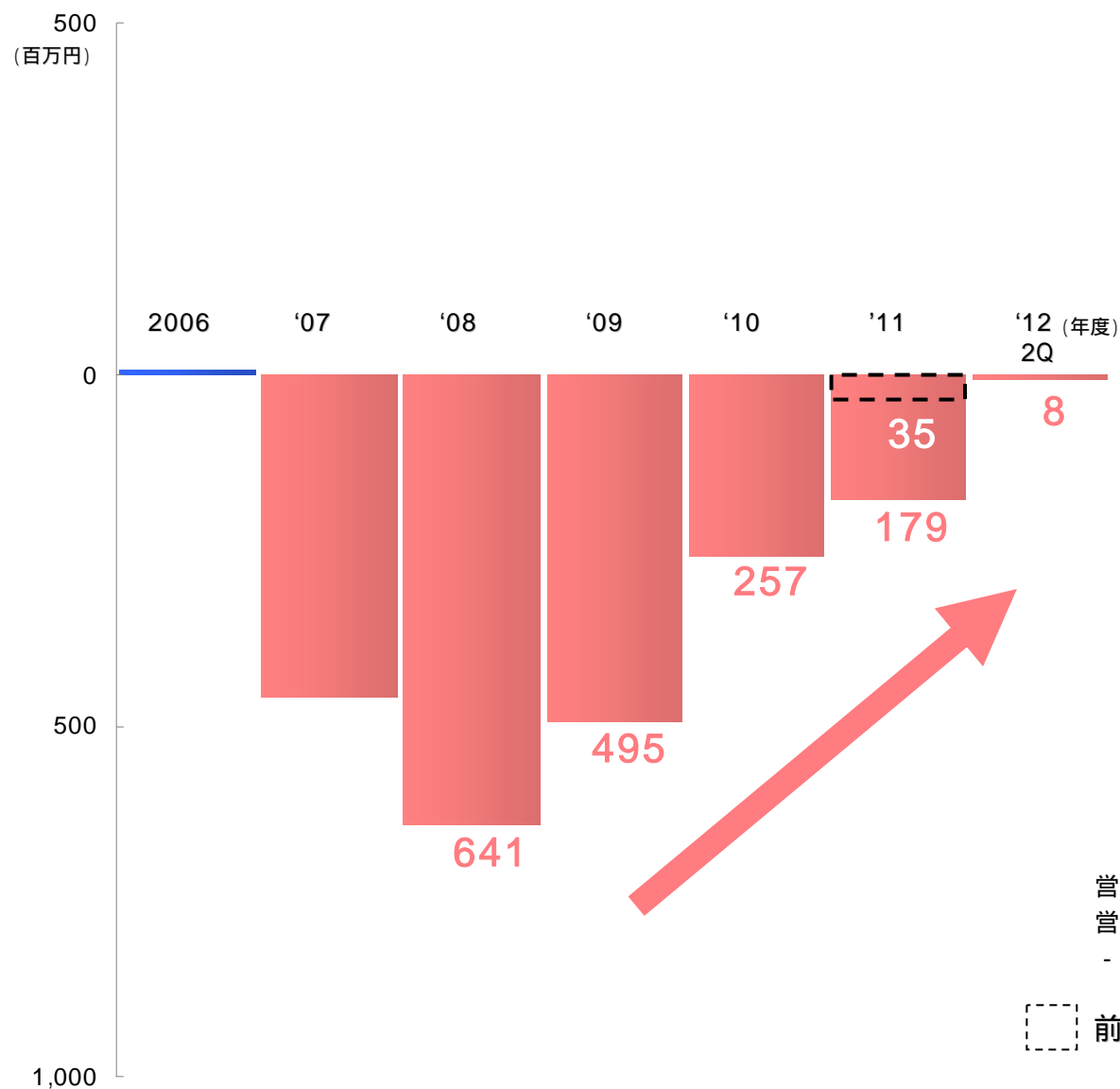


経費削減を進め、2008年度以降は
収支改善

安定的収入 = 投資事業組合等管理収入 + コンサルティング収入
 固定的費用 = 販売費および一般管理費 + 売上原価 (営業部門における活動経費)

前年同期の数値を記載

2.5. 営業投資有価証券にかかる損益(合計)



営業投資有価証券にかかる損益

引き続きマイナスが続いているもののマイナス幅は大幅に縮小

営業投資有価証券にかかる損益 =
 営業投資有価証券売却高 - 売却原価 + 売却にかかる投資損失引当金戻入額
 - 減損等 + 減損等にかかる投資損失引当金戻入額 - 投資損失引当金繰入額

前年同期の数値を記載

2.6. 営業投資有価証券にかかる損益について

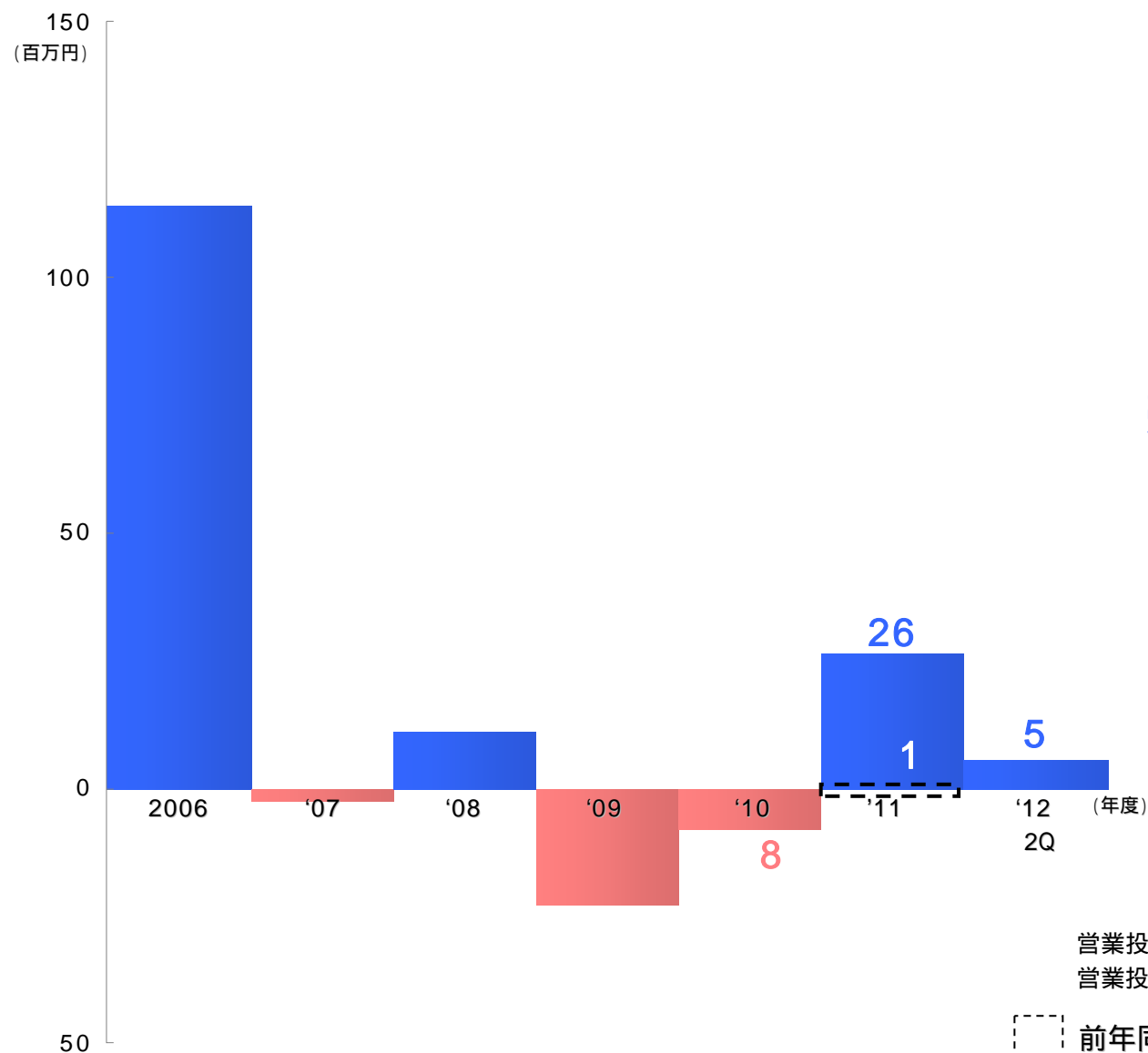
営業投資有価証券にかかる損益 =

売却にかかる損益 +

減損等・投資損失引当金繰入にかかる損益

本資料においては、端数処理(切捨て)の影響で合計額が一致しておりません。

2.6. 営業投資有価証券にかかる損益(売却)



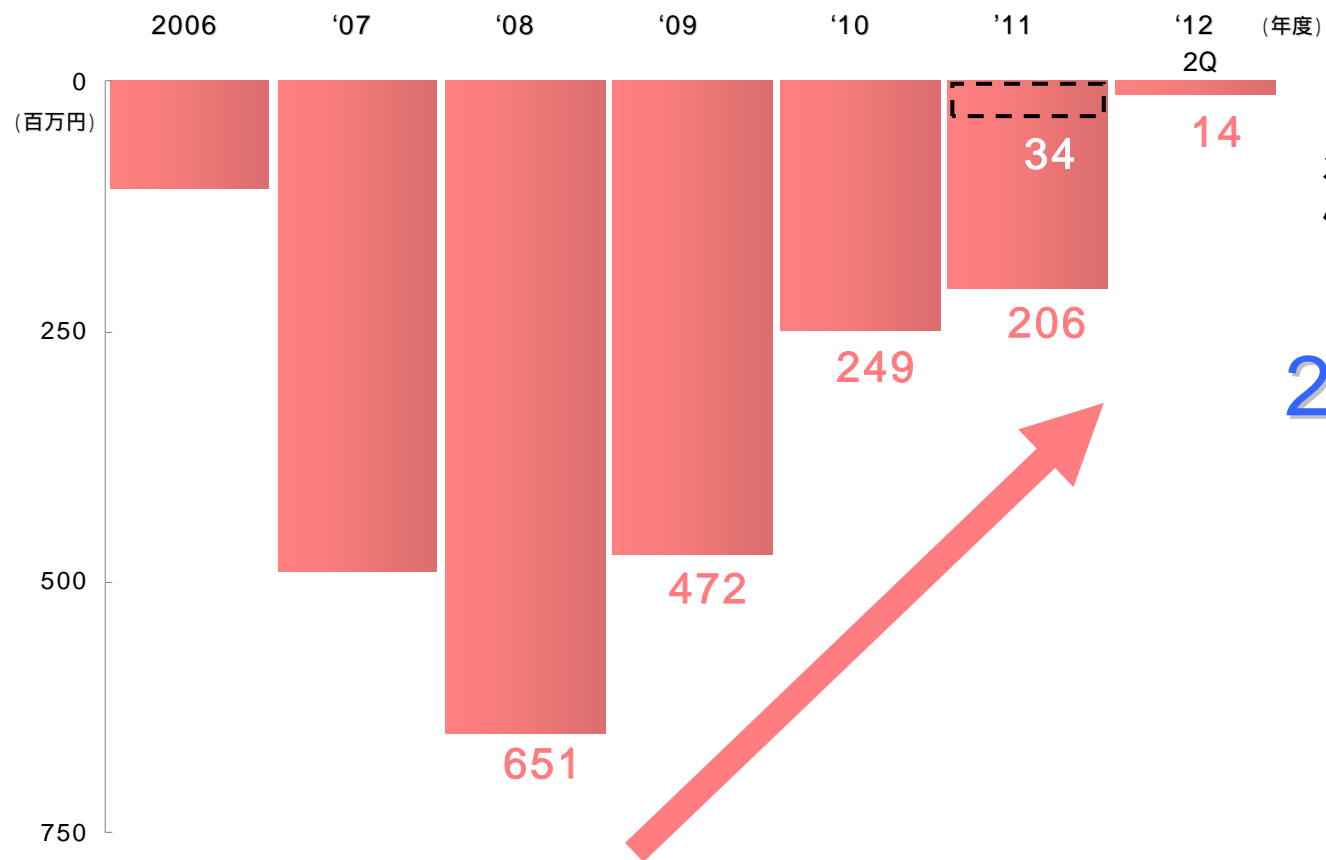
営業投資有価証券の 売却にかかる損益

売却にかかる損益はプラスを維持

営業投資有価証券の売却にかかる損益 =
営業投資有価証券売却高 - 売却原価 + 売却にかかる投資損失引当金戻入額

前年同期の数値を記載

2.6. 営業投資有価証券にかかる損益(減損等・引当金繰入)



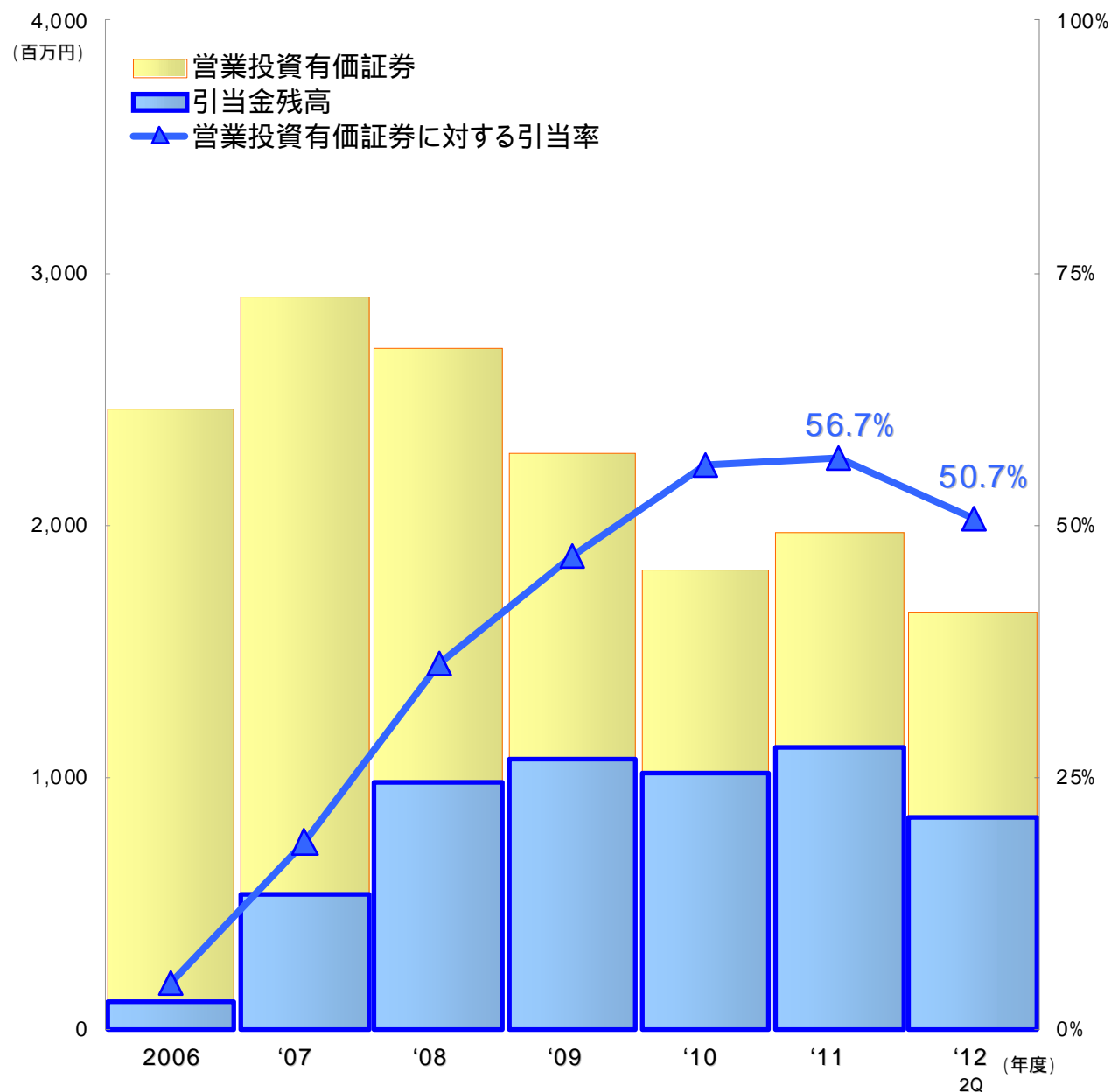
減損等・引当金繰入

2008年度をピークに
減少傾向が続く

営業投資有価証券の減損等・引当金繰入にかかる損益 =
- 減損等 + 減損等にかかる投資損失引当金戻入額 - 投資損失引当金繰入額

□ 前年同期の数値を記載

2.7. 営業投資有価証券と投資損失引当金

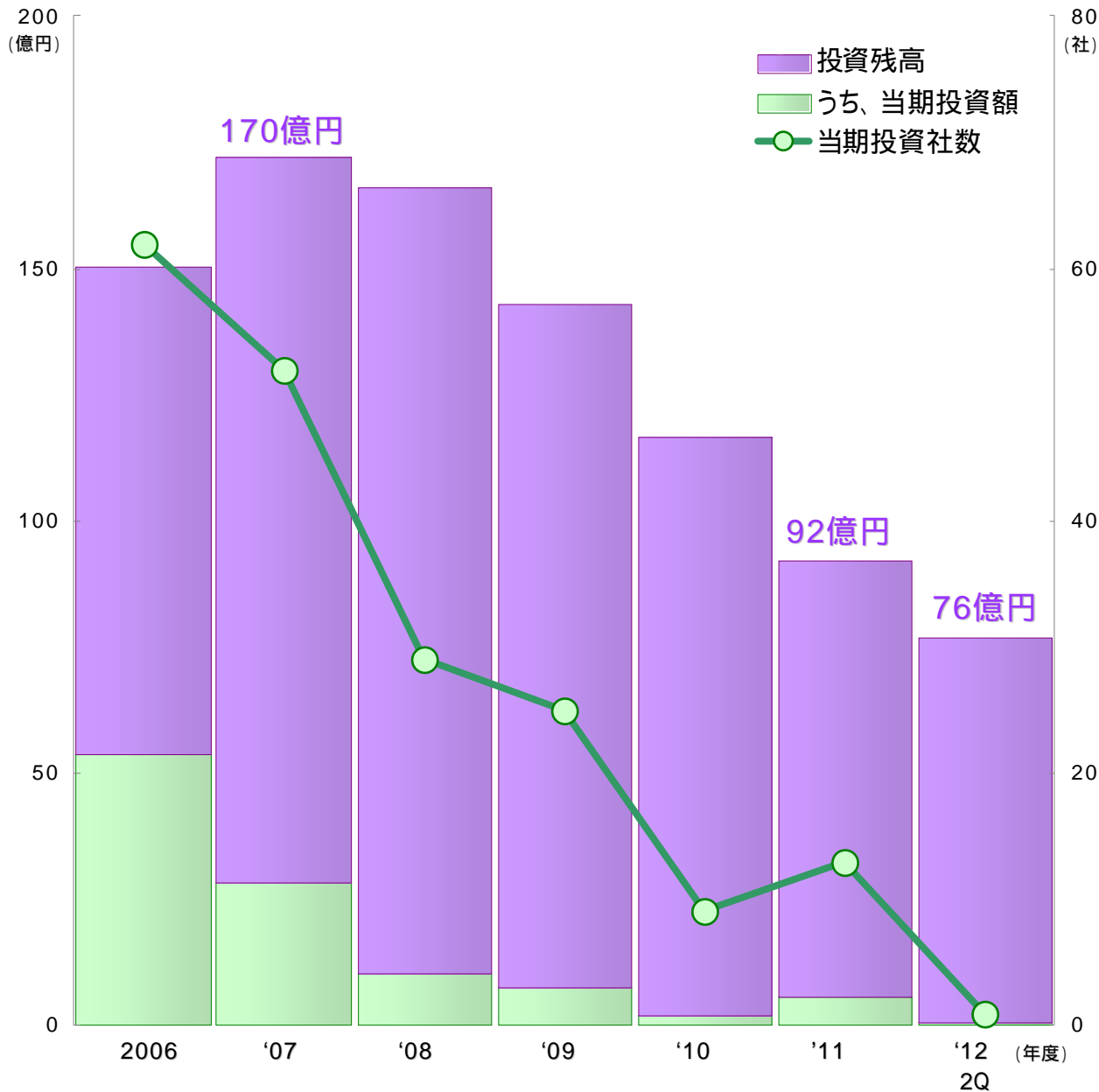


営業投資有価証券に対する引当率

上昇傾向にあった引当率が減少に転じる

2011年12月に当社が管理・運営する投資事業組合の他組合員の出資持分を譲り受けたことにより、一時的に営業投資有価証券、引当金残高ともに増加しています

2.8. 投資活動



投資活動

売却活動の推進と
投資額の減少により、
2007年度をピークに
投資残高は減少が続く

連結対象の投資事業組合すべてを含んだ数値を記載



収益改善に向けた取り組み

3.1 収益改善に向けた取り組み

1. 早期黒字化(収益改善)に向けた取り組み

インキュベーション事業を始めとする新規事業による収益源の多様化

2011年7月 京都市内中心部にインキュベーション型シェアオフィスをオープン

2012年4月 同ビル内にSOHO向け個室オフィスをオープン

その他、当社の拠点周辺にて複数案件が進捗中

新規ファンドの設立、ファンドの管理受託

2012年8月 もりおか起業投資事業有限責任組合を設立

その他、既存ファンドの後継となるベンチャーファンドなど新規設立に向けアプローチ中

また、ファンド運営のコンサルティングサービス提供やファンド管理受託にも着手

経費削減(固定的費用の削減)

2012年度第2四半期累計 159百万円(前年同四半期比 15.6%)

2011年度第2四半期累計 183百万円

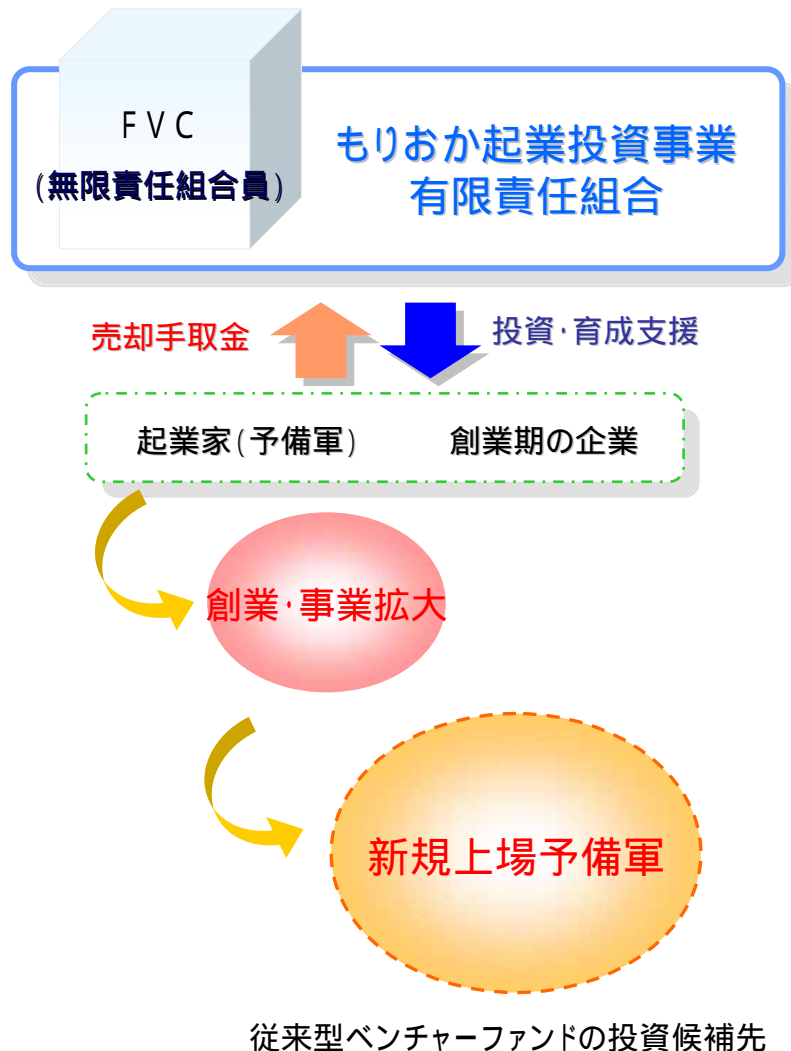
2. ファンドパフォーマンスの向上

重要投資先への集中的な育成支援ができるよう投資先企業を選別

M & Aアドバイザー業者との連携等により、売却推進中

3.2 もりおか起業投資事業有限責任組合の設立

2012年8月 もりおか起業投資事業有限責任組合を設立



- ・2007年6月以来となる新規ファンド
- ・当社初の創業支援ファンド
- ・盛岡広域地域の起業家や創業間もない企業を支援
- ・地元の金融機関及び自治体と連携し、地域密着型の育成支援体制を構築

もりおか起業投資事業有限責任組合を通じた活動が、創業期の企業支援を強化し、従来型ベンチャーファンドの投資対象となる企業のすそ野を広げることに繋がる

【参考】 会社概要

- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 2,048百万円
- 発行済株式総数 : 61,259株
- 株式上場市場 : 大阪証券取引所 JASDAQ市場 (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル4階
- 従業員数 : 26名
- 事業内容 : 未上場企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など